

かみふらの 議会だより

12.2.10
No.25

NOW

ナウ

新世紀にむけてスタート!



2000年1月1日の北の大文字から
(温泉写真館提供)

- 農業被害交付金の補正予算を可決 ②
- 市町村合併など11議員が一般質問 ⑤～⑮
- 戦後の上富良野村議会・町議会の歩み No. 1 ⑮

第5回 臨時会

農業被害に対する 交付金の補正予算を可決



長雨と猛暑により過去最悪の被害が（議員による町内行政調査）

交付金
5千391万1千円
を補正

平成11年11月26日開催された第5回臨時会で異常気象に伴う農業被害に対する交付金5千391万1千円の補正予算を可決しました。

これは長雨と猛暑により農作物が約20億円、33・2%と過去最悪の被害を受けたことに伴い、翌年度の営農に伴う種苗・生産資材の一部を助成するため、被害農家に対して交付するものです。

対象は町内に居住する農業者で10%以上の被害を受けた2ha以上の耕作者で41戸、交付額は被害率により10a当たり800円、1千円、1千200円で総額5千391万1千円の予定です。

こんな質疑が

議員 今回の農業被害に対して申告をしていないが新たに被害の救済を求められた場合、行政として対応する余地はあるのか。

農業振興課長 町としても再三申請手続きをされるよう配慮しており、申請がない方については被害がないものと判断している。

議員 機械的に申請がなかったというだけでこのような判断にたつてよいのか。

町長 再三再四にわたり、申告の催告をしながら被害状況の掌握をしてきた。この支援策にのろうと意欲のある農家であれば申告に来ていただけたものと、来ていただけなかったものとは被害がなかったものと判断させていただいた。

町職員・特別職・議会議員の 期末手当を0.3ヵ月分削減



国に準じて期末手当を削減

「上富良野町職員の給与に関する条例」、「特別職の職員の給与に関する条例」と、議員発議による「上富良野町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例」の一部を改正する条例を可決しました。

これは、人事院勧告に基づく国の改正に合わせ町の一般職員、特別職、議会議員の期末手当をそれぞれ0.3月分削減するものです。

これにより期末手当（一般職員については勤勉手当も含む）が現行年間5・25ヵ月分が4・95ヵ月分になります。

第4回 定例会



好評の日曜議会

第4回定例会は12月19日(日)・20日(月)の2日間開催され、補正予算・条例などの審議と一般質問を行いました。



テレビモニターにより傍聴

2日間で
150人を超える傍聴

第4回定例会は、12月19日、20日の2日間、開催されました。
19日は平成9年の第3回定例会よりはじまって、今年で4回目の日曜議会として開催され、平日に仕事などで傍聴できない方が一般質問などに真剣に耳を傾けていました。
傍聴者は19日・20日とあわせて150人以上にのぼり、傍聴席に入りきれず、多数の方が別室の会議室でテレビモニターにより傍聴されました。
なお、テレビカメラの位置等については今後の検討課題となりました。



有収率の向上を!

水道事業会計

1 水道料の徴収は、厳正に行い、未収金の解消に努められたい。
2 漏水調査について努力し、有収率の向上に努められたい。

審査意見

病院事業会計

1 抜本的な運営形態の改善を図るとともに、日常運営に対する支出の抑制は更に強化されたい。
2 法定保守点検以外の各種点検および委託業務については、その必要性等厳正な精査、比較検討を行い、必要最小限に留めるよう努められたい。

3 患者負担金の未収に関しては、昭和56年度より相当件数があるが、収納督促には最大努力をされたい。

水道 病院

平成10年度 決算を認定

平成10年度の水道事業、病院事業会計の決算を審査意見をつけて認定しました。認定にあたっては、特別委員会を設置して11月11日委員会を開催し、書類審査、質疑討論などを行いました。決算状況は水道事業会計は、68万5千円の損失決算、また、病院事業会計は、9千333万円の損失決算となり累積欠損金は6億5千962万9千円となりました。



特別決算委員会での書類審査の様子

(千円)

12月補正予算の状況

会計名	補正額	補正後の額
一 般	1億9,080万8	96億5,293万3
国民健康保険	4,895万9	10億4,213万1
簡易水道	▲ 5,192万1	4億2,435万6
老人保健	2億3,250万0	14億4,022万7
公共下水道	2,527万8	8億 56万8
水道事業	60万2	2億6,119万0
病院事業	▲ 1,228万5	11億9,220万7

補正予算
の概要

効率的な除排雪体制へ

内容は西側地区の除排雪について現行町の直営で行っていましたが、それを民間に委託することにより、町全体の除排雪時間の短縮等を図ろうとするものです。

除排雪経費に

476万円を補正

町道の除排雪経費に476万円の補正予算を可決しました。

デイサービスセンターの利用者の送迎用のワゴン車購入等のための経費555万円の補正予算を可決しました。これは、サテライトデイサービス実施に伴うもので、道の補助金を受けてワゴン車(6人乗り十車椅子2人)とその車庫を購入するものです。

デイサービスセンター
送迎用ワゴン車を購入

デイサービス事業の充実に

中学校のテレビ・

ビデオを更新

上富良野中学校の教育機器の整備を図るため、その経費400万円の補正予算を可決しました。

内容は各教室のテレビ、ビデオ12台を更新するものです。

ゴミ減量化・
資源化に向けて

ゴミの減量化、資源化のための経費を補正しました。内容は平成12年度から予定されているペットボトルの分別収集に向けての準備のための経費と農村部のゴミの収集開始に伴う経費です。



監査委員に

十川 薫さんの選任を同意

町の監査委員に十川薫氏を選任することに同意しました。

選任は平塚武代表監査委員が平成12年1月11日で任期が満了となることによるものです。

任期は4年間です。

意見書

2件の意見書を国に送付しました

地方分権に伴う
財源確保のために

今日の地方財政は極めて厳しい状況にあり、分権型社会に対応するためには地方財政基盤の安定強化が不可欠であり、次の事項を要請する。

- 1 消費税の国と地方の配分の見直しなどによる税源委譲を行うこと。
- 2 税制度の抜本的見直しを行うこと。
- 3 交付税率の引き上げと算定方式について地域の実情の確な反映を図ること。
- 4 公債費負担軽減措置の拡充を図ること。

送付先 内閣総理、大蔵、自治各大臣

30人以下学級の
実現を!

義務教育を取り巻く環境は、深刻な事態が進んでおり、ゆとりある教育を推進するためにも十分目が行き届く学級運営が望まれる。

また、学校事務職員・栄養職員にかかる費用を国庫負担の対象から適用除外することは地方自治財政を一層圧迫し、義務教育の円滑な推進に大きな影響を与えるものであり、次の事項を要請する。

- 1 30人以下学級の実現と国においてその財源確保を。
- 2 義務教育国庫負担法を堅持すること。
- 3 教科書無償制度の継続。

送付先 内閣総理、大蔵、文部、自治各大臣

☆プロフィール☆

十川 薫(とがわ かおる)
昭和24年 和寒中学校卒業
昭和30年 郵政職員に採用
昭和55年 上富良野特定郵便局長
平成10年 退職
和寒町出身
昭和8年10月30日生まれ
富町2丁目在住

Q、市町村合併の取り組みは

A、大きな課題と認識している



市町村合併は今後の大きな課題

市町村合併の取組みは

問 道から、これからの市町村合併について解説した本が出された。これによると、一、住民の日常生活圏の拡大、二、地方分権の推進、三、少子高齢化の進展、四、国・地方を通じた財政の著しい悪化等によるとある。その合併の時期は平成17年3月31日とあり、更に、法律では厳しい罰則条項が加えられてもいる。そこで、市町村合併への取組みについてお聞きしたい。

町長 現段階では具体的な考え方は持っていないが、合併は地域実情に応じて関係市町村や住民の意志が尊重され一丸となって取り組んでいかなければならない大きな課題と認識している。

秩序を乱す反演習勢力

問 日米合同演習反対勢力について、11月7日(日)午後、余りに南町方向が騒がしいのでいってみると、「連合」「平和運動センター」の看板を掲げたボンゴ車がポリユー

ム一杯に駐屯地に向かって「日米合同演習反対」「米軍は帰れ」「防衛費の削減」を連呼し、これに自治労の役員、北教組の学校職員、全連の郵便局員すなわち連合が連呼していた。

また今は撤去されたが、旭町官舎下の交差点通学路に「国旗、国歌法制化反対」と「30人以下学級」の看板が並立していた。国旗、国歌法制化反対の看板には自衛隊員の絵がはいっていたが、これがイジメ、差別につながることを考えないのか疑問に思う。そこでこの静かな町の秩序を乱す連合という集団はなんの集団か。正規の政治団体か。また中学校にバスを止めていたが申請はしているのか。

町長 演習反対の団体は北海道平和運動センターで、参加組織は労働団体である。教育長 校庭使用の文書申請はなかったが、口頭で許可している。

再質問 センターの議長と連合上富良野の会長は同一人物であるので、一心同体と理解する。平和運動センターの方針を要約すると護憲、反米、反自衛隊、反安保である。連合上富良野の2000年度の方針は先の道議選では、「矢野某」を当選させた。次の衆議院選では名寄の「桜庭某」を推すとある。また、8月の町議選で連合支持として当選した町議会議員と政治、政策協議を進め連合の考えを実現するとある。その兆候としては、議会運営委員会の陳情、要望の規則が一部変えられた。

町長 町としては勤労者育成のための助成策として対応している。

再々質問 町の方々と自衛隊は非常にいい関係にある。連合という集団には愛町愛郷精神はないのか疑問である。そこで全体の奉仕者である役場、学校教職員が政治活動をしたときにはどのように考えるか伺いたい。

町長 法規に基づき的確に対応する。

教育長 違法があれば厳正な措置をする。

予算書を分かりやすく

問 防衛補助金と防衛交付金が収入のところに載っていないが載せられないのか。

町長 歳入の内訳が分かりやすいよう検討したい。

叙勲祝金制はやめては

問 秋の叙勲で2名の方が叙されたが自治功労以外は祝金ではない。この差別的祝金制度はやめて町史に御名前を載せてはいかがか。

町長 今後十分協議して対応に努める。



梨澤議員

Q、特認地域である本町の取り組みについて

A、ガイドライン確定の段階で判断したい



つばさ会による資源回収の様子

中山間地等、直接支払い制度の取組みについて

問 農業被害対策として、5千326万円の再生産支援金の交付は評価出来るが、中山間地域等直接支払制度で特認地域の本町の取組みは、

町長 本町は地域振興立法の指定外であり、国のガイドライン確定の段階で町の判断をいたしたい。

再質問 過疎指定を受けていない本町の場合、特認申請を行っても適用にならなかったときの対応策は、

町長 町が対象からはずれた場合、今後の農業振興策の中で、農協と十二分な調整を図り、対応を取り進めてまいりたい。

特認農業者認定条件の緩和について

問 いろんな補助事業を受ける場合、認定農業者でなければ該当出来ないという要件があり、広く認定農業者の認定条件の緩和を求めるがいかか。

町長 この制度は道の基本

方針に基づき、基本構想を作成し、意欲ある農業者を認定しており、それにより農用地利用集積の支援、税制上の特例措置、制度資金の融資、規模拡大などの対象となるため、町が独自に条件を緩和することは困難と考える。

町道21号道路整備を

問 東中ゴミ埋立地周辺生活地域の町道北21号道路は、東方面に住宅及び耕作農業者十数戸があり、平成8年12月関係地域より要望書の提出のあったところであり、町として具体化する考えは、

町長 東中ゴミ埋立地は、昭和46年から平成11年3月まで28年間、町のゴミを処理してきており、周辺住民の協力にお礼を申し上げる。北21号町道整備は周辺地域との処分場閉鎖打合せ時に要望されたところであり、東中ゴミ埋立地閉鎖工事完了までに取り進めたい。

再質問 埋立工事完了までに21号町道の整備を行うと

いうことだが、地元住民の強い要望であり、早急な道路整備の実現を。

町長 特殊性を考慮し計画の中で優先的に取り進め、遅くとも埋立地閉鎖工事が終了するまでには、完了に向かつて努力するのでご理解を賜りたい。

障害者福祉行政、つばさ会について

問 健康者と障害を持つ人たちが一緒に生活をおくれるような福祉の充実が求められる、本町においても平成9年8月、心身障害児の自立、自活の実現のため、つばさ会が発足、地道な活動を続けている。つばさ会運営に町として助成金を出す考えは、

また、町の第4次総合計画に示されている障害児の取組みで、対策はどのように進められているのか。

町長 つばさ会は運営資金など行政に依存することなく運営し、他の模範となる団体であり、今の自主・自

立の考え、行動力を継続するよう願うものである。

第4次総合計画にも自立促進のためのグループホームや作業所の建設が計画されており、実現に向け努力する。

再質問 つばさ会は現在、

上富良野町22名、中富良野町4名、賛助会員260名で活動している。心身障害者だけでなく、高齢者も含めた人達が安心して生活を営む施設建設の願いに立って再度町長の考えを。

町長 我町は他の町村と比較しグループホーム等の活動が純いような気も私自身しており、行政として最大限の対策を講じる。

再々質問 会は、フリーマーケットの開催、将来の目的積立て金、財源確保の資源回収を行っている。保管施設等の早急な改善を求める。

町長 担当所管とつばさ会との話し合いの中で、充分な行政対応を促進していく。



岩崎議員

Q、行政改革の推進状況は

A、政策調整会議を設置し協議している



職員適正化計画は

行政改革の実施計画はどの程度進んでいるか

問 行政改革実施計画は町職員で組織した行政改革推進本部の手によって平成9年に策定され、現在どのように推進しているのか。

町長 行政改革実施計画の進捗状況は町民の声を取り入れ基本項目を9分野とする。更に69項目の細目を定めて実施計画書をまとめあげている。この組織は発足以来、新たに助役を責任者に7人の課長職で構成する政策調整会議を設け協議を進めているところであり、4月発足以来現在まで8回の会議を開催する中で当面の政策課題である平成12年度の事業計画を検討協議を重ねているところである。

問 職員適正化の計画と臨時職員について伺いたい。行政改革案に平成8年から平成13年まで職員数268名の定員を17名減らし251名とする計画を策定されているがどのようなようになっていくのか伺いたい。

か伺いたい。

町長 平成8年度計画策時点からは現在実施の直前にある介護保険制度への対応が求められ、新たな増員要素が生じている大きな変化に伴っているが、臨時職員について本庁舎では採用を見合わせるなど削減を図っている。現在は16名を配置しており事務内容により人員の適正化を図っていきたい。

問 9分野69項目にわたる行政改革の推進を図り、実施の段階で平成12年中に対応しなければならぬ課題を伺いたい。

町長 情報公開条例等の制定に向けて今、鋭意検討をして私としては平成12年度の12月議会までには情報公開条例の制定に向かって取り進めたい。

問 当町の財政は十分なのか。起債制限枠までの公債比率がどのくらい残っているのか伺いたい。

総務課長 地方債の許可制

限に係る指標である起債制限比率は10%前後が望ましい数値の範囲といわれている。これが15%以上になると公債費の適正化団体となり地方債の借入れが制限される。本町の10年度の数値ですが、現在10年度では12・5%となっているところである。

平成12年度資金計画の中で継続費、また新規事業も含め投資的事業に充てる経費として31億円程度見込んでいるところである。

町長の公約について

問 町民の期待に対し、町長は選挙時の公約をどのように考えているか。

町長 町長選挙の公約の実現については私が選挙に臨んだ基本姿勢として、町づくりの基本は農業、商工観光、自衛隊の3本柱の調和のもとに7項目の施策の具現化を公約にあげ、町民の負託に応えるべく、実現に向け鋭意努力してきた。

問 第4次総合計画の事業



小野 議員

計画に位置付けられた町の重要な政策課題はどう進めていくのか伺いたい。

町長 第4次総合計画の中でも高齢化社会を見据えた保健福祉施設の整備を第一に推進してまいりたい。また、商店街の整備についても町の活性化を図る上においても重要な政策課題であり、文化会館、図書館についても中長期の財政状況を見極め、鋭意実現に向けて推進していききたい。

再質問 町民の懸案である総合福祉センター建設、町民の期待に応えることが町長の公約ではないか。

町長 総合福祉センター建設につきましては、平成12年予算の中に調査費を計上していきたい。また、駅前周辺整備につきましても12年度予算で調査費をつけた

Q、福祉バスを町内循環バスに！

A、現行の利用実績から運行は難しい



70%以上の利用率のある福祉バス

福祉バスの利用について

問 福祉バスを町内を循環するバスに利用する考えはないか。

町長 平成10年度11日、土日を除くと約70%以上の利用率があり、現況の利用実績から福祉バスの循環バスとしての運行は難しいと考えている。

高齢者や身障者の通院、買物の足の確保は課題であると認識する。

コンピューター2000年問題について

問 コンピューター2000年問題について町としてどのような対策を考えているか。

町長 上富良野町コンピューター2000年問題情報推進連絡体制を整え、万一の体制強化の対応は各課長自宅待機、また既にプログラムの変更など必要な措置を講じ、模擬テストなどを終えている。

再質問 独居老人や身障者の方を調査し、素早い対応をお願いしたいがいかがか。

町長 最善を尽くし万全な体制で対処する。

住民検診内容の充実をはかっているかどうか

問 予防医療の観点からも4月から施行される介護保険の内容が少しづつ明らかになるのに伴い、町民自身の健康への関心が一層高まっている。住民検診率も80・9%という傾向にあるが、高血圧、心臓、糖尿病等多く、今まで670名もいるとのこと。一人こいう状態になると月150万医療費がかかり、国民健康保険の圧迫にもなりかねない。血管を守る、インシュリンも守る検査項目を増やすことと、年2回春と秋に検診を実施することについて、どの様に考えておられるか。

町長 今すぐ年2回の実施は考えていないが、未受診者の受診時期を配慮し受けやすい時期にしていこう考える。御意見の検査項目につきましては、町でも検討すべき検査項目と位置付け、実施の方向で考えておりますのでご理解賜りたい。

審議会、委員会に女性の登用

問 上富良野町の町民の半数は女性で占められ、女性の進出は目覚ましく女性には家庭を守り、男性は外で働くという慣習は古めかしく、男女共同参画の時代。調べた限りでは、審議会が23、委員会が5、全員で28名中女性性は22名。委員会は32名中2名、いずれも1割にも満たない。自主的なサークル活動、研修、ボランティア、先日のヘルパー養成講座の申込みも125名もあり大半が女性と思われる。

行政の担い手である各種審議会、委員会に多くの女性登用について伺いたい。

町長 町の施策決定や計画の策定の過程の中で出来る限り、幅広い町民の声を反映させることが重要なので、意欲のある女性の方を公募制を導入する等、種々研究協議を行っているので御理解を賜りたい。



村上議員

図書室から図書館へ

問 富良野市は一人当たり貸出し4.7冊、上富良野町は2.7冊、町民はまだ増書を望んでいるが、今の場所は狭い。第4次総合計画の後期の位置付け、1日も早くならないかどうか。

教育長 町の財政との関連もある。整備計画具現化に取り組む。

道路行政について

問 町長の公約の中に身障者、老人等が安心して過ごせる生活環境道路の整備をするところがあるが、今までその様なことがなされていないが、今、道が実施している道々吹上線の歩道設置について、点字用ブロックの設置等の考えはないか。

町長 道々吹上線の改良年度に合わせ、視覚障害者誘導用ブロックの設置について、地域関係者の意向を充分に取り入れ、実現に向けて土木現業所と協議を進めるので御理解を賜りたい。

Q、上富良野高校の今後については

A、支援策等を提案していききたい



火まつりに参加する上富良野高の生徒たち

上富良野高校の今後の問題点について

問 上高については毎年定員割れを心配しており、教育長も大変苦労しており、学校になさるのか。

教育長 上富良野高校は昭和23年に創立し、50年あまりの歴史を持つ高校であります。年々少子化等の影響から生徒数は減少傾向にある。

現在道教育委員会で公立高等学校適正配置計画の中で統廃合を含めた具体的な検討協議に入っており、上高も該当になっている状況にある。

今後、町の財政との関連を十分調整した中で、3月の定例議会には支援策等を御提案申し上げたいと思っている。

商店街の街灯について

問 街灯については昭和43年に一度補修しながら新設したとなっている。築30年から40年がたっており、調

査の結果では3基ないし4基等は押せば倒れる状況にあるが、現在商店も経済的に余裕がなく、なんとか町の第4次総合計画の中で1年でも早く実施する考えはないか。

町長 現在町において設置者それぞれが維持管理を行っている。

各種街灯について現状と問題点を整理し、街灯照明整備管理要綱などを定めるべく、作業を行っており、十分検討して推進を図って参りたいと思っている。

現状を十分認識した上で早急な対応につきまして財政措置を図って参りたいと思っています。

バランスシートについて

問 いまなぜバランスシートが必要か。それはバランスシートを導入すると、財務諸表、一般行政コスト表、資金収支計画書、これがすべてわかってくる訳である。なかなか難しい点もあるが、町の財政の厳しい折、

ぜひ検討をする必要があると思うがどうか。

町長 公会計の中でも当然にして企業の経営感覚、特にコスト意識を持ち、財政分析方法の一つとして、導入に向け前向きに検討したい。

下水道特別会計、あるいは現在一般会計の中に繰り

こまれている、特別養護老人ホームラベンダーハイツ、ショートステイ、デイサービス等々の部分につきましても会計の別扱いに対応しながら、バランスシートの財政分析がなされる方法を取り込んでいく手法を早急に取り進めてまいりたい。



仲島議員



街灯の早期の整備を

Q、図書館の建設を早急に

A、重要な課題であるので実現に向け努力する



約35,000冊の蔵書がある図書室

図書館建設を早急に

問 最近子供の読書離れ、活字離れが指摘され11年8月衆参両院で、子供読書年に関する決議が採択され、2000年が子供読書年に制定された。本町の図書室は、蔵書が約3万5千冊ありと聞いたが、部屋の中は暗く狭い上に通路に大人が立っていけば通れない状況で、又床面積が決まっているから本棚は上へ上へと高くし、子供達は脚立を使ってお本を選択している。もし、落ちたら事故責任が問われると感じた。また、1番かわいそうに思えたことは6人用の閲覧席があるが、大人が着席していたら、子供達は暗い階段に座って本を見ている姿である。更にまた、年輩いた人は2階のため階段がつらく身障者にも優しくないという意見を聞くことがある。当該施設の建設のため第3次総合計画の最終期で調査費を実施計画書の上で予算計上して執行されなかったことは誠に残念に思う。町長の政策で図書館建設を公約としていたが、第4次総合計画の中では事業名だけでいつの年度に公約を実行するかかわからないので、早い年度に実行されることを期待する。管内では美瑛町、東神楽町、当麻町、和寒町、東川町、来年度は比布町でも建設される。子供の夢と希望を、また子供の感性を高めるためにも一日も早い展開ができないか伺いたい。

教育長 図書館での読書は子供達の言葉、感性、情緒、表現力、想像力を啓発するとともに、人としてよりよく生きる力を育み人生をより味わい深い豊かなものとしていくために欠くことのできないものであり読書の持つはかり知れない価値を認識している。子供たちの読書活動を応援するよう国からも要望されているところである。利用者が大変ご不便の中利用していただ

ている状況は十分認識している。本町の子供たちの読書への愛好の高さから、新しい世紀を担う子供達が本と触れあうことにより言葉を学び感性を磨き、表現力を高めるには重要な課題であるので実現に向け努力するのでご理解いただきたい。

町道の移管について

問 江花十字街道々上富良野中富良野線を西山道路26号道路を経由して、道々吹上線まで道々に昇格する考えはないか。また、町道26号橋が架設され、老朽化幅員も狭く、大型車輛が通行できない実態にあることを鑑み、ぜひ町長の政治力で道々に昇格に向け要望される意志があるか伺いたい。

町長 道路整備が昇格の中で推進されるよう移管に向けて関係機関に要望して参りますのでご理解賜りたい。

町交通安全条例について

問 本条例の第5条では町長は良好な交通環境を確保するために交通安全施設の

整備、これら目的達成のために関係機関に要請するとある。そこで、新井十人牧場中の沢交差点改良、町道北26号と国道交差点の改良については地先と良く意見を聞いて事故の未然防止のために、改良される考えはあるのか。また、ダイイチスーパー前交差点の信号機設置について地域住民の要望も高いことから鋭意配慮していただいている経過について伺いたい。

町長 安全な道路づくり交差点の事故防止のため地域の不安解消のため、関係者と十分打合せを行い、土現と協議を進めて実行して参りますのでご理解賜りたい。

信号機の設置は、住民会、父兄から信号機の設置要望が出され私としても本条例に基づき対策協議会を開き富良野警察署長に対し、信号機と横断歩道の設置を要望してきているが、あらゆる機会を通じ早期実現に努力するのでご理解賜りたい。



福塚議員

Q、景観条例の早期制定は

A、条例の制定に向かって検討する



景観を護るため早期の条例制定を

上富良野の景観について

問 上富良野の素晴らしい自然景観について第4次総合計画策定の町民アンケートで「あなたが他の地域の人々に紹介するとしたら何を町の魅力としますか」の問いに「十勝岳連峰22%、ラベンダー21%、自然環境と田園風景15%、十勝岳温泉郷14%、深山峠や千望峠9%」と回答の81%が景観を上げている。この上富良野町独自の景観を「護る・創る・保全する・整備する・育てる」ということを基本とした景観づくりについて町長の所信を伺いたい。

町長 十勝岳連峰をはじめ雄大な自然環境を将来に引き継いでいくためにも、森林、道路、河川等の開発整備の際には、適正な土地利用を誘導して行きたい。

問 十勝岳観光協会が設定した「八景と五大名所」の環境整備についての考え方を伺いたい。

町長 観光の町上富良野を

PRしてありますが、厳しい財政の中で今後の課題として検討したい。

問 他の市町村にない上富良野町の景観について「護る・創る・保全する・整備する・育てる」を基本とした「景観条例の制定」を具体的に進めるべきと考えるが町長の所信を伺いたい。

町長 町の理念として景観保全条例の制定に向かって十分検討できると認識している。

十勝岳登山道の整備を

問 十勝岳の雄大な自然景観に魅せられて、観光客・登山者が四季を通じて急増している。凌雲閣前の十勝岳登山口から安政火口までの1.5kmの登山道は観光客が軽装で行かれますので、抜本的な整備と毎年補修的な整備とに分けて登山道の整備を早急に取り組んでは。

町長 平成10年度では1万1千600人の登山者があり登山者の利便と安全確保、事故防止を目的に限られた財



中村議員

政の中ではありますが、最大限の整備を進めていかなければならないと考えている。今後も山岳救助警備隊やボランティアの皆様の御協力をいただきながら登山道の整備を進める。

上富良野町の歴史資料の保存について

問 平成9年の上富良野町開基百年に発刊される予定の百年史が大幅な遅れと内容に不備があり、その最大の要因は各分野での関係資料が十分に保存されていないことが実情で、それらの反省に立って現在はどう措置されているか伺いたい。

町長 議員指摘の通り行政資料の不足、団体機関等の資料不足である。これらの反省に立って行政文書・古文書等の整理保存のための体制づくりが課題となっている。

行政文書の整理保管を継続しての体制づくりに早急に検討する必要があると痛感している。併せて議員指

摘の住民会を含めた民間サイドの協力を得ながらの資料収集と保存についても検討し、十分な資料確保ができる体制を取り進めさせていただくよう努める。

再質問 百年史の発刊数は3千冊ですが、現在の在庫状況は。

企画調整課長 地方公共団体と関係団体等への寄贈が540冊、一般販売が239冊、合計779冊で全体の35%が出て、現在は2千221冊が在庫として残っている。

Q、PFI法を活用し民間活力の導入を

A、制度を十分研究したい



PFI法を活用し地域活性化を

民間活力の導入について

問 今、地方公共団体の財政は著しく緊迫している。我町においても同じように財政難になっている。それでも行政は住民の要望に答えなければならぬ施策が山積みしている。

町長 町としては民間活力の導入を図ってはいかがか。10月に施行されたPFI法を活用し早期に実践に移してはいかがか。これは従来国や地方公共団体が自ら行ってきた社会資本の整備、公共サービスの提供について民間の資金やノウハウを活用し企画建設、運営まで行う新しい社会整備の方法である。財政難の町においては活用すべき法案ではないかと思うが町長の考えをお伺いしたい。

町長 いわゆるPFI法推進法につきましては、国も自治体も極めて深刻な財政難に直面していることから、公共事業の抜本的な見直し求められている中で、社

会資本の整備は地域経済の活性化や雇用促進には不可欠なものであることから、公共サービスの分野に民間の有する資金、ノウハウなどを導入してより効率的で質の高い公共サービスを提供するという趣旨で施行された本法案は地方自治体や民間企業にとりましては地域活性化の大きな起爆剤の効果もたらされるものとして有効であると思慮しているところである。

御質問の導入につきましては、本制度を十分研究して参りたいと思いますのでご理解を賜りたい。

再質問 このPFI法は国、地方公共団体の支援として債務負担行為、財政の無償使用、無利子貸付け等はあげられておりますが、もしこれをしたという事業者が出た場合は、町としては取り組む意志があるのかをお伺いしたい。

町長 地元からそう言う要望が出た場合、町としては

検討させていただきたいと思う。大いに民間活力の導入を図る上からもこれらの対応につきましては前向きに対処していきたいというふうに思っている。

巨額の財政投資をしております公営住宅の建設、教職員住宅の建設は、担当所管に指示をし調整を図りつつ、町としては前向きに取り組んでいきたい。

町道の除排雪について

問 狹隘道路、通称二間道路の除排雪の徹底を、またその中でもふれあい通り、この道路は90件からの飲食店が軒を並べて営業している。この道路の整備が悪いと緊急時の迅速な対応もできなくなり、また営業にも差し支え、商業の発展にもマイナスになる。町長の考えをお伺いしたい。

町長 市街地の狹隘道路の排雪ですが、町道の除雪路線については幹線道路および通学道路などが優先されることが、狹隘道路など



長谷川議員

の排雪は雪の降らない日、町道の除雪が行われない日に限りますので、定期的な排雪は難しい状況である。

再質問 ふれあい通りは違う環境にありますので、管理責任問題にならないように整備をしていただきたいのですがお答えを願いたい。

町長 狹隘道路の一つである、ふれあい通りは優先的にその対応を図るように進めたいと思っている。

町民プールの使用状況は 町民プールの利用状況と他町村からの利用者の経費負担は考えられないか。

教育長 平成8年度に利用期間を少しでも長く利用いただけるようにと温水上昇の設備をし、本年度2万1千33人が利用している。他町村の利用者は1千600人で施設利用につきましてはブルーシー・アンド・グリーンランドの意図からも町内外者といった色分けをせず利用いただいているところである。



町独自の少子化対策を

Q、コンクリート破砕施設の対応は

A、早期の協定書の締結に向け努力する

コンクリート・リサイクル施設について

問 9月の定例議会で町長は今後一日も早く公害防止協定を締結しその実効を確保、住民の不安解消に努めたいと答えたが話し合いが一向に進展していない。今後どの様に対応解決するのか住民が納得できる、町長の実のある誠意を持った所信を示して頂きたい。

町長 周辺住民が一番に懸念している降雨時における粉塵の河川流入を防ぐため、沈砂池施設及び環境整備を要望、完成確認と降雨の折に施設が充分にその機能を果たしているのか確認を行わせ問題が無いと認識している。

一日も早く協定書の締結に向け最善の努力をする。町は地域住民の不安解消する為の立会人としての対応を図るといふことでありますのでご理解賜りたい。
再質問 地域住民が要望した重要課題である。町長ご

自身出向いて努力された事があるかお答え願います。

町長 今後、農閑期を利用して十分その対応を図っていく。私自ら出向いた事は一度も御座いません。

再々質問 町長自ら出向いて解決に向けて努力すべきである。

その考えは無いのか、その点もう一度誠意を持って御回答願います。

町長 私自ら出向いていつて解決出来る状況なのかいなか、充分勘案しながら対応を図ってまいりたい。

少子化対策について

問 少子化対策臨時特例交付金の使途経過および少子化防止対策の今後における施策についての所信を伺いたい。

町長 少子化対策臨時特例交付金は、わかば愛育園150万、高田幼稚園150万、公共施設整備175万8千円と民間施設重点に施行し、事業内容はわかば愛育園は厨房整備や段差解消等の施設整備、



清水議員

まいる考えである。

交通安全対策について

問 危険と思われる交差点に点滅信号機設置等の安全対策を行政として早急に行うべきと考えるが対応についての所信を伺いたい。

町長 町の交通安全対策協議会に図り、富良野警察署長宛てに信号機、横断歩道等の設置4カ所、一時停止9カ所の要望を行っているところである。

再質問 死亡事故が多発しており、危険と思われる交差点に点滅信号機等の設置及び自衛隊東門前新設交差点に信号機の設置が必要であり、対応を考えて頂きたい。

町長 今後も各交通安全対策施設の整備等々を含めて従前以上の要望を重ねて対応を図って行きたいというふうに思っておりますのでご理解を頂きたいと思う。

再質問 既に他町村では独自の施策を講じているが、今後、町として少子化対策として奨励策等の独自の施策を講じる考えはないか伺いたい。

町長 児童手当の対応等々も含めて町として子育て環境の整備充実は今後も継続して力注いでいく。

奨励金を出すことによって果たして子供を生み育てて頂けるのか、十分検討を加え施策として展開して

Q、商店は街の宝、商工振興条例の制定を。

A、起業家・商工業等の支援策について協議したい



早期の商工振興条例制定を

商工振興条例の設置を

問 商工業者の育成のためにも、仮称商工振興条例を設けて商工振興を図ることが必要では。

町長 町内起業家育成、商工業等の経営改善に向けた支援策については協議したい。

生活に密着した公共投資を

問 住民の暮らし、福祉優先の公共投資の見直しを。

町長 各財政支出が上昇状況で推移するので、新旧の事業等についても再評価を行い政策決定をしたい。

再質問 財政の弾力性がないうちで公共事業については当面凍結などしながら財政の転換を図るべきでは。

町長 オートキャンプ場についても当初計画から2億円近くの削減をするなど財政投資額の見直しと再評価をして進めている。

入札制度の改革を

問 入札予定価格の公表と、談合のうわさが出た工事に

ついては入札の延期、業者については指名から外すなど透明性の確保をすべきでは。

町長 予定価格を事前に公表していくためには入札制度そのものの改革と検討が必要と考えている。入札の執行を妨げるような情報入手した場合は指名委員会を開催し、入札執行の延期、取り止めの対応も考えている。

再質問 入札価格の公表のめどはいつか。談合の疑惑の出た業者の対応は。

町長 予定価格の公表については、指名競争入札のからみもあるので抜本的に考える必要がある。うわさが立っている業者については、信頼性を調査した上で対応を厳正に図ってまいりたい。

自立判定者に支援を

問 介護保険で自立と判定された方にも要支援者並の支援が必要では。

町長 自立判定者に対しては、要介護状況に陥ること

がないように給食サービスなども継続したい。

再質問 町の支援対策では十分とはいえないと考えるが。

町長 介護保険策定委員の方とも協議し対応したい。

介護保険料・利用料の軽減措置を

問 住民税非課税世帯からは保険料・利用料は徴収しないことを基本に軽減措置を。

町長 保険料・利用料の軽減については国も対応するとしており、町独自の軽減策については十分な見極めを図って検討を図りたい。

再質問 老夫婦二人で生活保護基準にも満たない状況で保険料などを支払うのは無理であり、町長は現状を見ていないのでは。

町長 国も3年間の特例措置を図るとしているので今後状況を踏まえて是正を図りたい。

子育て支援の計画を明確に

問 障害児保育、乳幼児保育等の要望が出されているが今後の対応は。

町長 障害者、一時保育など民間の保育所や幼稚園の協力をいただき今後とも取り組んでいきたい。

再質問 狭い施設で乳幼児の保育をしなければならぬなど、解決しなければならぬ課題があるが。

町長 15年をめどに子育て計画を策定し、町の子育て支援を強化したい。

子供たちに施設の無料開放を
問 小中学校を対象に公共施設の無料開放を。

教育長 施設管理の問題もありますが、早い時期に実施努力したい。

30人学級の実施を

問 安心して授業がうけられるためにも30人学級の意向を。

教育長 個性、創造性を活かすためにも国、道にも働きかけ、早期実現が図られるようにしたい。



米沢議員

Q、学童保育所の設置を！

A、既存の施設利用促進を図りながら対処する



児童館での行事の様子から

学童保育所の設置を

問 最近では女性の社会進出が目覚ましく、また働く機会も増えており、受け入れる側の体制も非常に柔軟になり、いろいろな形で女性が働く機会が増えてきており、それに伴い、夫婦共稼ぎが増え、子供たちが学校が終わって家へ帰っても親が不在である。

また、低学年のお母さん方においては働きたいが働きにでられない、子供達を安心して預けられる場所が欲しいという希望がある訳である。

町は児童館を設置して対応しているが今の体制では不十分である。

やはり安心して預け入れる場が必要であり児童の健全育成のためにもなると考えるが、学童保育所の設置、あるいは働くお母さん方のための環境整備の面から、どのように考えているのか答弁を求める。

町長 保護者が昼間家庭に

いない児童のために、昭和57年度までは留守家庭児童学級を設置し運営してきたところだが、同年東児童館を開設し、平成3年に西児童館を開設し対応してきたところである。

ますます夫婦共働きが家庭が増加し、安心して働くための居場所を増やすことが非行の防止、児童の健全育成の観点からも放課後の学童保育は大きな効果が上がるものと認識している。

校長会や教頭会と意見交換を行ってきたが、保護者やPTAから差し迫った要望は寄せられていないと承ったところだが、保護者などに対し今後アンケート調査を実施し意向把握に努めたいと考えている。

当面は開設時間の延長も検討し効果的な運営を進めるよう考えている。

再質問 アンケート調査はぜひ実施していただきたい。対象もこれから学校へ進学する幼稚園生、保育所に

通う子供の家庭も対象にするべきと考える。

また、時間延長についてはなぜ早期に検討しなかったのか。

もう1点参考にして欲しいのですが、平成10年4月に出された放課後児童の健全育成事業実施要項中に、実施にあたっては遊びを主として、放課後児童の健全育成を図るものが配置され受け入れができるものである。

場所についても児童館のほか、保育所、学校の余裕教室、団地の集会所など社会資源を活用して実施すること。

また、児童の保護者、児童委員、民間の健全育成ボランティア等の協力を得て支援にあたりたい。

この事業実施にあたっては経費の2分の1をみまそうたっている。

なぜ今までこれらのものを含めて検討した中でもっと住民の要望に応えようとしなかったのか。



西村議員



昭和57年に設置した東児童館

教育民生常任委員会視察調査

委員会レポート

教育民生常任委員会では、所管事務調査のため、平成11年11月15日から19日まで高知県伊野町、吾川村、徳島県山城町、香川県多度津町の保健福祉、ゴミ処理についての状況を視察しました。

全国初の広域介護公社設立

高知県吾川村

◎「介護公社」の取組みについて

吾川村、池川町、仁淀川の3町村で全国で初めて(財)広域介護公社「西仁淀介護公社」が平成6年に設立された。この地域は過疎化、高齢化が進み、今後において高齢者より介護の担い手率が低くなってきている状況に対応するため、3町村が協力して住民ニーズにあったきめ細やかなサービス提供をしている。

また、ここは山間地のため1戸1戸の家が離れているため、ホームヘルパーは電子手帳を全員が携帯し、移動時間等を利用しデータを入力し、集計業務等の省力化を図り、訪問回数の増など効果を上げていた。

高知県伊野町

◎保健、福祉、医療の連携について

平成10年に完成した「すこやかセンター伊野」は、総合保健福祉センターと特別養護老人ホームを一体化した施設で、施設内には社会福祉協議会、吾川郡医師会、在宅介護支援センター、デイサービスセンター等が配置され、保健、福祉、医療の各



サービスが1ヵ所に整備統合されている。保健や福祉という境界がなく、各種専門職種が一体的に活動できる地域ケアシステムとなっている。

特徴的な施策として、元気な高齢者が仲間の高齢者の相談や介護の手伝いなどを行う「シルバー介護士」や、閉じこもりがちな老人を地域の老人仲間が支えあう「地域ミニデイサービス」などが実施され、地域住民のふれあい、支えあいが強く感じられた。

徳島県山城町

◎「福祉の里」について

全国的にも珍しい町営住宅との合併による特別養護老人ホームやデイサービスセンター、住宅介護支援センター、ケアハウス等を同一敷地内に建設し「福祉の里」が完成した。

特徴的なのは、「福祉の里」に小学校、幼稚園が隣接していることや、特別養護老人ホームと町営住宅を合築したことにより、児童や地区自治会との交流などが図られ、地域に密着した施設運営がされていた。

香川県多度津町

◎ゴミ処理について

◎町民健康センターについて

ゴミ処理については、1市3町による瀬戸内中讃環境保全組合と2市7町による中讃広域行政事務組合に

より広域処理されている。

分別収集体制は、ゴミ減量化、再資源化を図るため「捨てればゴミ、活かせば資源」を合言葉に住民参加により実施してきており、平成9年には分別収集に併せてゴミの有料化も図られた。有料化により減量化意識が高まり、可燃ゴミについては約20%の減量となっている。

社会福祉施設「町民健康センター」は在宅の寝たきり老人等の支援事業の拠点、また健康な老人の憩いの場として特別養護老人ホームの隣接地に建設。保健センター、老人健康施設等が入っており、効率的な連携体制が取れていた。



『福祉の里』全景

まとめ

本町においても介護保険制度に対応すべく人的要素の獲得、施設機能の質的転換、広域機能の整備について、地域特性を捉えながらも地域内施設や人的資源の活用を積極的に進め、住民が共に支えあう地域福祉の創造に意を注ぐことが肝要である。

ゴミ処理については、有料化や減量化意識の高揚など多くの検討課題はあるが、一般廃棄物処理施設の延命対策、処理費用軽減など町民の意識の高揚に負うことが大きいことから、徹底した周知啓発活動を基本とした施策の展開が望まれる。



施設の説明を受ける議員

議会の“窓”

交流研修しました 中富良野町議会と交流研修会開催

議員会主催による中富良野町議会との交流研修会が1月29日(土)に開催されました。

内容は本町のクリーンセンターを視察した後、4つのグループにわかれて、ごみ処理・し尿処理・消防・その他広域的な課題や現在両町が抱える共通する課題などについて意見交換を行いました。



各課題について意見交換する両町の議員

南幌町の議会運営は 議会運営委員会先進地調査

議会運営委員会は、1月18日・19日の2日間、先進地行政調査を実施しました。

18日は北海道町村議会議長会で議会運営について講話を受け、翌19日は南幌町議会一般質問の取り扱いや意見書提出等の取り扱いについてなどスムーズな議会運営の在り方について、活発に意見交換し、大変有意義な研修でした。

教育民生常任委員と 教育委員の 懇談会を実施

11月19日教育民生常任委員会と教育委員との懇談会が実施されました。

懇談会では、上富良野高等学校の振興対策や教育関連施設整備計画などについて意見交換がなされました。

議会の動き

〔10月〕

- 7日 町内行政調査
- 議会広報特別委員会
- 8日 教育民生常任委員会
- 富良野沿線議員研修
- 15日 (南富良野町)
- 総務常任委員会
- 議会運営委員会

〔11月〕

- 1日 教育民生常任委員会
- 9日 教育民生常任委員と
- 教育委員との懇談会
- 11日 企業会計決算特別委員
- 15日 教育民生常任
- 委員会先進地行政調
- 査(高知県、徳島県、
- 香川県)
- 19日 産業建設常任委員会
- 22日 総務常任委員会
- 議員協議会
- 26日 第5回臨時会
- 29日 教育民生常任委員会
- 串内草地組合議会

〔12月〕

- 2日 議会運営委員会
- 7日 産業建設常任委員会
- 9日 教育民生常任委員会
- 14日 総務常任委員会
- 15日 議員協議会
- 16日 議会運営委員会
- 17日 議会広報特別委員会
- 19日 第4回定例会
- 20日 第4回定例会

編集後記

コンピューター2000年問題(Y2K)で心配だったミレニアム2000年の幕開けも、何事もなく迎えることができて本当によかったと思う。反面、改めてコンピューター依存率と我々の日常生活の中での密着率の高さを考えさせられた。

今年は改革のうねりの年、新しいことが次々と進む。地方分権の時代、旧本の法律が改正され4月から施行される。それに向けて地方自治体は大変な作業が待ち受けている。

議会活動も活性化が要求される。9月定例議会は10人の方の一般質問、また12月定例議会は、サンデー議会、傍聴の方も多く11名の一般質問が行われました。地域の皆さんの声を町政に反映し、議員自らが改革し、町民の負託に応えなければと責任の重大さを感じております。

議会だよりでは、少しでも皆様に気持ちをお届けしたいと取り組んでおります。ご意見をお聞かせください。

(村上記)

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 福塚 賢一 |
| 副委員長 | 村上 和子 |
| 委員 | 中村 有秀 |
| 委員 | 岩崎 治男 |
| 委員 | 長谷川 徳行 |
| 委員 | 向山 富夫 |

議会の傍聴は自由です！

当日、受付で名前などを書くだけです。

この広報紙の色は町花ラベンダーをイメージしたものです。